

平成19年 敬老作文集

敬老作文コンクールの入賞者の表彰と最優秀賞を受章された方からの朗読発表が、今年も敬老式会場で行なわれました。

今年も井川小2・5年生、井川中2年生からの応募があり、それぞれ最優秀賞1点、優秀賞2点、優良賞2点の計10点が入賞しました。

入賞された方々の敬老作文をご紹介します。

小学生の部

最優秀賞

先生みたいなおじいさん

井川小5年 勝又樹里



樹里さん
(宇治木)

私のおじいさんは自慢のおじいさんです。体がとてもじょうぶで、すごく健康的です。晴れている日は、ほぼ毎日自転車となり町まですサイクリングしたり、近所を散歩したりしています。

私に通っている水泳スポーツ少年団の練習が終わると、「今日は速かったなあ。でも、もっと速く泳ぐには自主練習をすることが大切だ。」とか、「二十五メートルまでは、速く泳いで、後の二十五メートル泳ぎやすい速さで泳ぐといい

ぞ。」とアドバイスをしてくれます。その他にも、私ที่บ้านに帰ると、「おかえり。」と明るく声をかけてくれたり、「今日はどうだった?」、「給食はおいしかったか?」など、いろいろなことを聞いてくれるので話がり上つていつも楽しいです。

また、家庭学習の社会の勉強で、「キジ」を書くとして困っていたおじいさんにかき方を教えてもらったこともありました。その時は、おじいさんは絵がうまいんだなあと思ってびっくりしました。

あと、私ที่บ้านでたいくつそうにしていると、「トランプをしよう。」と言ってくれて遊び相手になってくれてすごくうれしかった事もありました。やっぱりいっしょにしているとすごく楽しいです。

いつもアドバイスをしてくれたり、遊び相手をしてくれたりして私は本当の先生のように思っています。これからもおじいさんは、私の先生としていつまでも元気で笑顔が絶えないおじいさんでいてください。

優秀賞

わたしのおばあさん

井川小2年 伊藤有咲



有咲さん
(小泉)

わたしのおばあさんはあき田しにすんでいます。だから毎日会えないのでわたしが学校から帰って来る時間に合わせて「あつちゃんお帰り。」とかならずでん話をかけてきてくれます。そして学校のことやおともだちのこと一日あつたできことを教えてあげます。おばあさんは、りょうりがじょうずで休みの日にあそびに行くといろいろつくってくれます。そして帰るときはおみやげにもたせてくれてばんごはんのときかぞくで「おいしいね。」と言いながら食べま

す。食べおわると「おいしかったよ。ごちそうさま。」とおばあさんにでん話をかけると、「こんどはなにをつくらうかな。」とわたしたちにつくってくれることがたのしみようです。だからわたしはおれいにおばあさんのかたも

みをしてあげると、気持ちよさそうにしてとてもよろこんでくれます。わたしがかぜをひいてねつを上げてしまふともしんぱいして一日なんでもでん話をかけてきてくれていつでもどんなときもわたしとお兄さんのことを一ばんにしんぱいしてくれるとてもやさしいおばあさんです。学校のうんどう会や学しゅうはつびょう会にもはりきってかならず見に来てくれます。すると毎かい言うてくれることは「あつちゃんとお兄さんのがんばってるのを見るとうれしくてなみだが出るね。またらい年もたのしみにしてるよ。」と言ってくれます。だからわたしも、もつともつとがんばろうと思います。あばあさんはわたしとお兄さんの顔を見ると元気が出ると言ってく

れるけど、わたしのほうこそおばあさんがよろこんでくれる顔とおうえんしてくれるおかげでがんばる気持ちになります。大ききやさしいおばあさん、これからもおうえんしてね。ありがとう。

元気いっぱいのおばあちゃん

井川小5年 渡部悦史



悦史さん
(新聞)

「昼ご飯何がいい」

休日になるとおばあちゃんがいます。ぼくのおばあちゃんは、いつも元気で明るくやさしいおばあちゃん。ときたまおこるんだけどそれは、ぼくのためにおこっていると思います。ぼくは、こんなおばあちゃんが大好きです。

じゅう道の試合の時だつて家を出発する時「がんばれ。」

といってくれます。この一言でぼくは、とてもがんばれます。ぼくのおばあちゃんは、ぼくのがんばりのもとになっています。

おばあちゃんは、畑仕事もがんばっています。ぼくの家は、畑を三つもっています。三つの畑の仕事全部やるなんてすごいなと思います。この畑がある場所は、山と小屋の後ろと田の近くです。特に山は、高いのでたいへんだなあとと思うのですが、それをもっともせずにはぼつたりします。

八十二才になるおばちゃんですが長生きのひけつは、たぶん毎日体を動かすことだと思います。朝庭のそうじをしてからおかあさんと朝ごはんを作ります。そしてすききらいなく食べるのだと思います。おばあちゃんは、毎日たくさんの野菜を食べているからです。

こんな元気なおばあちゃんがいるとぼくも元気になってきます。このおばあちゃんはぼくの自まんです。そしてこのおばあちゃんがぼくのおばあちゃんだつてことを

とてもほこりに思います。

でもおばあちゃんは、八十二才なので、おばあちゃんは、足がいたいと言っていました。だからおばあちゃんが、大へんな時、手伝つてあげたいです。

優良賞

ぼくのおばあさんと

おじいさん

井川小2年 畠山竜希



竜希さん
(上村)

ぼくのうちには、二人のおとしよりがいます。おばあさんとおじいさんです。

あばあさんの名前は、トキエおばあさんです。トキエおばあさんのとしては、六十三さいです。いい

おじいさんの名前は、とくぞう
おじいさんです。とくぞうおじい
さんのとは、六十七さいです。
とくぞうおじいさんのしごとは、
田んぼに行つて、こめをそだてる
しごとです。たいへんだとおもひ
ます。

ぼくもおとなになれば、おじいさんとおばあさんのしごとをやらなきゃいけないのかなとおもいます。

れからも、いろんなことをして、手つだいをしたいです。

わたしのひいおじいさん、

ひいおばあさん



梨菜さん
(さくら)

井川小2年 斎藤梨菜

わたしのひいおじいさんは、しんぶんはいたつをしています。朝四時にしんぶんはいたつをします。夕方にも、行きます。ひいおばあさんは、つけものづくりがめいじんです。ひいおばあさんは、おりよりも、じょうずです。ぬいものも、めいじんです。ひいおばあさんは、こしをいためているけれど歩けます。すごいひいおばあさんです。ひいおばあさんには、はたけがあります。おうちから、ちよつとはなれたところに

あります。そのところは、ねぎや
だいこんやなすいろいろなものが
はたけにあります。そのいろいろ
なものは、ひいおばあさんがつけ
ものやおみそするにいたりしま
す。そのつけものやおみそするに

た、ひいおばあさんとひいおじいさんは、いつも、わたしがいけば、元気にして、バスで来るのをまつていつてくれます。ひいおばあさんとひいおじいさんのところにははたけじゃなく、はちにつちをいれて、ミニトマトが一つこだけひいおばあさんとひいおじいさんのおうちにあります。ひいおじいさんとひいおばあさんのおうちのそこには、にわとりや犬のぼちがいます。ひいおじいさんといっしょに行つてえさをたべさせます。そのにわとりや犬のぼちのえさやりは、ひいおじいさんといっしょに行つてえさをたべさせます。そのえさやりは、ひいおじいさんといっしょにやれば、たのしくできます。ひいおじいさんとひいおばあさんは、やさしくて、ぎゆうにゆ

中学生の部

最優秀賞

うやジュースがないときは、ゆうゆうにかいに行つてくれます。だからほんとうにやさしいひいおじいさんとひいおばあさんです。これから体になつて元気になつてほしいです。

「敬老の日」に思うこと

井川中2年 小武海沙貴



沙貴さん
(小竹花)

私の身のまわりには祖父母以外にもたくさんではないけどお年寄りがいいます。元気で一人で何でもできる人もいれば、家でずっと寝て過ごしている人もいます。ちな

みに私の祖父は、とても元気です。「誰か来たな」と思うとそれは祖父で、漬け物や野菜などを持ってきてくれるのです。持ってきてくれる漬け物は、もらい物のときもあるけどだいたいは、祖母が漬けた物です。私の母も漬け物をつくるけどあまりおいしくないです。半分生で……。やっぱり祖母がつくってくれた漬け物が一番おいしいです。感謝してます。

私には曾祖母もいます。今年で九十六歳です。七夕生まれです。耳もものすごくおくて大きな声で言わないときこえません。でも弟たちが騒いでいるとたまに、「なんとしたって」と言います。おどろきです。「何事だ」という感じの意味だと思いますが、さすがにうるさいのは分かるみたいです。九十六というのはとても長生きしてるんだと思います。体に気を付けてほしいです。

お年寄りはいろんなことを知っているといます。祖父は「木」に詳しく、亡くなった祖父も「森」についてとても詳しくだったので

す。今考えてみると、祖父母は「自然」に関係するものをとても知っています。それほど昔は自然と近い生活をしていたんだなあと思います。今現在は地球温暖化の問題がいっぱいあります。科学が発達するのにも良いことだけど、自然と暮らすことも大切だと思います。やっぱりお年寄りの生活は良い見本になります。早寝早起き、私は苦手なので本当にすごいです。お年寄りにはもつと長生きをしてほしいものです。十分なくらい健康な私の祖父母ですが、無理なことはしないでほしいです。これからもおいしい漬け物楽しみにしています。



優秀賞

ありがとう。

井川中2年 森田 倫子



倫子さん
(羽立)

みなさんは、九月十七日が何の日か分かりますか。九月十七日は、敬老の日。つまり、自分のおじいさん・おばあさんを敬う日だという事を知っていましたか。敬老の日は、知っているようであまり知られていない行事だと私は思います。私のおじいさんは、老眼ですが手がとても器用でなんでも手作りしてしまいます。例えば道ばたで、折れている木があると走って家へ戻り道具を持って、また走ってその木を直して帰ってきます。その顔は、とてもうれしそうで子供に見える時があります。走っ

たせいで息ぎれをしてまでも木の命を助けようとするなんて、バカじゃないの？と小さい頃は思っていました。が今では、その気持ちが分かる気がします。おじいさんはきつと、どんな命も同じ重さに感じているのだと思います。

おばあさんは、自然がとても好きで畑にはたくさんの野菜や果物が植えられています。正直、おばあさんは暇があれば田んぼや畑に行っている気がします。それだけ、自然が大好きなんだと思います。おばあさんのすごいところは、畑にきた生物を殺さず逃してあげるところ。自然に害をあたえる虫は殺すけどそのほかの生き物は逃してあげます。だから生き物を見つけた時のおばあさんの口ぐせが「ぼってやれ!!」なんだと今になって気づきました。おじいさんは、何も言わずにそつと近づいて殺します。自然に対して正反対な二人の性格上、どうやって結ばれたのだろうと不思議に思います。もう一つのおばあさんのいいところは、笑わないところで笑ってし

まうところ。いい意味として取れば、それなりにいいのかもしれないが、そんな意味で取ると悪いと思います。そんなおばあさんは、おじいさんと一緒に命を大切にしているんだなあと思います。

敬老の日は、自分のおじいさん・おばあさんだけでなく別の立場の人を敬う日なのです。私は、おじいさんとおばあさんのほかに感謝したい人が二人います。一人目は、病院の先生です。その病院は、私が小さい頃からお世話になっていてとても感謝しています。二人目は毎朝、決った場所に立って子供達の安全を確認しているおじいさんです。朝の通学では二回ぐらい見ます。このごろになって気がついたのが、そのおじいさんがいるとすごく安心してしまふのです。あさつをする、「おはよう!!」と言ってくれます。

「敬老の日」は、自分のおじいさんとおばあさんだけではなく他人でもお世話になってる人に感謝する日なのだとこの作文を書いて、改めて感じさせられました。

「おじいさん、おばあさん。そしてお世話になってる人、いつもありがとう。」

口グセ

井川中2年 伊藤 知代



知代さん
(今戸)

私のおばあさんは、たくさんのお話をしてくれます。戦争の苦労や、植物のそだて方、野菜をおいしく食べる方法など。どんな話をして、おばあさんは最後に必ず、「人よりいいことをしなくてもいいから、悪いことだけは絶対にしてはいけないよ。」と、いいます。これが私のおばあさんの口ぐせです。

でも、私のおじいさんには、口ぐせがありません。口ぐせがないかわりに、話をするときは必ず、

「ニツ」っと笑います。私はおじいさんのその笑顔がとても好きです。

私が小学校二年生のときに図工で絵を書く授業がありました。あまった紙におじいさんの笑っている顔を書きました。おでこや口もとのしわを一生懸命かいたことをおぼえています。

あの絵をかいてから、六年たち、おじいさんのおでこのしわはこくなりました。でも、おじいさんは年をとるにつれて、笑うようになったと思います。最近はおじいさんもうだんも言うようになりました。

私はおじいさんと学校のテストや進路について話をするときがあります。おじいさんは私の話を聞いてアドバイスしてくれます。でも、おじいさんは決って自分からテストや進路のことは聞いてきません。私が話し出すのをまつて、私の話をじっくり聞いてくれます。そこがおじいさんのよいところだと思っています。

これから、しわはもつともつとこくなると思いますが、おじいさ

んにはもつともつと笑ってほしいと思います。

そして、おばあさんと二人で仲良く楽しい生活をおくってほしいです。

優良賞

Dear おじいちゃん

おばあちゃん

井川中2年 伊藤 文恵



文恵さん
(宇治木)

いきなりだけど、私はおじいちゃん・おばあちゃんが大好きです。いつも、私のことを可愛いがってくれてありがとう。

まずおじいちゃん。おじいちゃんとはとてもおしゃれで上品だね。まじめで厳しいけど、優しく

接してくれるときはすごいうれし
いよ。畑仕事や鶏の世話をしてい
るのを見ると、頑張ってるなあ
と改めて思います。

次に、おばあちゃん。私のおば
あちゃんの作る料理はまさに絶品
です!! さいほう・習字・歌・料理
：おばあちゃんはとつても器用。
一人で居ると、おかしをもつてき
て一緒に話したり：料理を手伝う
ときに、料理の極意も教えてくれ
る。外見はおだやかそうに見え
て、やるときはやる。そんなおば
あちゃんみたいに、私もなりた
いなあ。

私が小学生の頃、まだゲーム
とかもなく、遊び相手がいないと
き、二人のどちらかが遊んでくれ
た。すつこい楽しかった。でも、
中学校に入ると、それが一変した。
勉強のおいこみ、部活の忙しきで、
あまり二人と話せなくなっている
のはとても悲しいよ。

でも、毎日の「いつてきます」
「いつてらっしゃい」・「ただいま」
「おかえり」は、かかさず言つて
くれるよね。それに私はいつも、

元氣とパワーをもらつてるよ。

部活でのコンクールや本番があ
る日には、「頑張れな。おばあちゃ
ん応援するがらな。」と必ず言つ
てくれるよね。悪い結果だと、さ
りげなくなぐさめてくれるよね。
もう本当に感謝のキモチでいつば
いだよ。

二人には、ずうーと長生きして
ほしいです。でも、だからといつ
てあまり無理しないだね。いつま
でも元氣で若々しく、笑顔の素敵
な二人でいて下さい。

おじいちゃん、おばあちゃん、
大好きだよ。



畑作をがんばるおじいさん

井川中2年 菅生 佳那



佳那さん
(大麦)

私のおじいさんは、いつも朝早
くから畑へ行き、作物の手入れを
しています。自分が育てた作物を
見ているおじいさんの顔は、とて
も楽しそうで、それを見ている私
の方までおもわず笑顔になつてし
まうくらいです。

おじいさんの作った作物には
愛情がこもつていて、野菜ぎらい
の私でも、おじいさんがどんな気
持で作ったのかと考えると、とて
もおいしく感じます。おじいさん
の作った作物を食べることが、私
の楽しみの中のひとつでもあります。
す。

そんな私のおじいさんがこの
前事故にあつてしまいました。警

察から電話があつたときはまさか
自分のおじいさんが事故にあうと
は思つてもいなかったもので、とて
も驚き、声も出ませんでした。組
合病院に救急車で運ばれたおじい
さんは肺挫傷と言われ、医者にこ
れだけですんだのは奇跡だと言わ
れたそうです。私はおじいさんが
入院すると聞いたときは驚いたけ
ど、命に別状がないと分かつてと
ても安心しました。

退院して帰つてきたおじいさん
は、すぐ畑へ行き心配そうに作物
を見てまわり、だめになった作物
を見たおじいさんの顔はとても悲
しそうでした。

私は、だめになった作物の分、
これから育つ作物に愛情をそい
でほしいな、と思いました。

おじいさん、はやく元氣になつ
て畑作をがんばってください。